

遊びを取り入れて行う教室のベースにはスポーツの楽しさを知ってもらいたいという思いがある



「子供たちとしっかり関わり、信頼関係を作れば、心を開いてくれます。信頼関係があれば子供たちはどんどん力を付けていくんです」  
仲間と共に始めたスポーツクラブは多世代がハンドボールを核に自主性を養う事、多種目を気軽に楽しむ事などを目指して活動する総合型地域スポーツクラブ

「子供たちとしっかり関わり、信頼関係を作れば、心を開いてくれます。信頼関係があれば子供たちはどんどん力を付けていくんです」  
仲間と共に始めたスポーツクラブは多世代がハンドボールを核に自主性を養う事、多種目を気軽に楽しむ事などを目指して活動する総合型地域スポーツクラブ



学習教室時代に学んだ子供たちとの関わり方が今のクラブでの指導に生きている

「子供たちにハンドボールを教えるぞ！」2002年5月、IDBスポーツクラブは高校時代の恩師の放ったこの一言でスタートしました。その立ち上げに携わった1人が現在、理事長をしている原田美智子さんです。  
中学3年生の時に岩国商業高校の指導者に声を掛けられ、高校からハンドボールを始めた原田さん。当時市民大

会で1勝もできなかったチームを入部後、優勝へと導き、自身は国体選抜に選ばれるほど実力を伸ばしました。  
卒業後も国体に出場するなど活躍を続けていましたが、結婚後、夫の転勤で競技からも岩国からも離れることになり、そこで偶然見つけた学習教室のアシスタントを始めます。この時の経験が今の指導者としての基礎になっていると話します。

「私はたまたまた代表をしているだけ。参加してくれる子供たちがいて、サポートする大人や関わるみんなのおかげ。1人では何も始まっていなかったはず」  
そう話す原田さんの子供たちへの思いは深くみんながクラブの主人公という気持ちで日々指導していると言います。「ここで楽しさを知っておけば後からつらい事があっても頑張れると信じている。私自身も子供たちから得るものは大きく、それをいつか返していきたい」とクラブの未来を見詰めます。



「お世話になったクラブに恩返しをしたい」とクラブ卒業生(写真右)も指導を手伝う

# すま いる

子供たちがわくわくできる  
居場所でありたい

Vol.149

原田美智子さん  
(今津町在住)

IDBスポーツクラブ理事長。高校時代のハンドボール部OGたちと共に岩国市で総合型地域スポーツクラブを立ち上げた。クラブの指導を通して、子供たちに楽しむこと、感謝することを伝え続けている。

